

「夢と魔法の王国」は大切なことを教えてくれる「魔法の学校」

みなさん、こんにちは!!香取貴信です。どうぞよろしく!!

思い起こすと、東京ディズニーランドでアルバイトを始めたのが14年前。私にとってはディズニーランドがいまの自分を育ててくれたといっても過言ではありません。

というのも、むかしの私はただのヤンキー少年……。私が本を書くなんて、学生時代の担任の先生にいつても、「うそー。また、なにいつてんの!!」って、絶対信じてもらえないでしよ(恥)。

ディズニーランドで働くなかで私は、「働くってどんなことか」や「教育」の大切さ、そして「いま目の前にいるゲスト(お客さま)のことをいつも第1に考えるサービス」とはなにかを、ここで知りあった愛情あふれる(ちよっと怖い)上司や先輩、同僚たち、そして数多くのゲストに教わりました。そのなかには、身も凍るような恐怖体験(笑)もあれば、ユーモアあふれる発想でのコーチもあり、まさに目からウロコの体験ばかり。

そつしたさまざまな体験を通して、ヤンキー少年だった私が社会人として成長させてもらい、さらには企業の現場教育などのお手伝いをさせてもらうまでになりました。

東京ディズニーランドは、ゲストにとって、永遠に完成しない「夢と魔法の王国」です。そして、その王国で働くことになった私にとっても、ふつうの学校では教えない大切なことを教えてくれる「魔法の学校」だったのです。

そんな私の失敗体験などが多くの人たちの役に立てはと思い、メールマガジン「テーマパークが私の学校」を発行し始めました。そして今回、それを本として出版することになりました。この本が、部下を抱えていたり、これからリーダーになろうとしておられる方、「働くってどういことだろう?」「と悩んでいる方、お子さんのいるお父さんやお母さんなどに、ちょっとでもお役に立てたらとてもうれしいです。

「大切なもの」を本当に大切に思うこと

いま振り返ってみると、デイズニerlandでは、「仕事」「ゲスト」でした。

(中略)

遅刻をしたスタッフに対して「遅刻や欠勤はなぜいけないのか」を説明するとき、

(中略)

私の体験したなかでは、こんなことをいう人もいました。

「あのね、香取さん。遅刻して欲しくないのはさあ、オープンるときに、この場所に香取さんについてほしかったからなんだよ。」

だって、香取さんが今日あの時間に通常どおりに立っていたら、今日のゲストのなかで何人かは香取さんあって楽しい思いをしてもらえたかもしれないでしょ!!いつもそうやってポジション配置を考えてるんだ。だから時間には来てほしいんだよ。ほかのキャストなんて誰も迷惑だなんて思っていないよ。でも、ゲストにとって私たちキャストの存在って、それくらい大事なんだよね……」

(中略)

デイズニerlandでは「ゲスト」でしたが、どんな仕事にも「大切にしなければならぬもの」があるはずです。その「大切なもの」を本当に大切に思うこと、それが「働く」ということなんだ、ということをお話してくれたのです。

こちらは「こころ書房」に許可を得て掲載しております。